

32 回生奄美大島修学旅行に寄せて

学校長 松本 修身

本校の修学旅行を鹿児島県の奄美大島で実施するのは、今回で2回目です。

これは、みなさんの先輩である31回生が高校生活最大の行事である修学旅行を計画する際、本校の教育方針に沿った様々な体験活動を実施することができるということを考慮し、検討に検討を重ねた結果、奄美でのプログラムに決定したと聞いています。

32回生のみなさんも、修学旅行委員会を中心に担当の先生方と、よりよい内容を目指して検討・改善を加えてきたものと思います。

なお、本校では当分の間、奄美大島を舞台とした体験型の修学旅行を実施することとしています。

さて、学校においては各種行事を始めとする様々な教育活動を実施する際、すべての活動に教育目標を設定しています。ちなみに、今回の修学旅行については、次の3つを目標としています。

- ① 世界自然遺産の候補地である奄美大島の豊かで美しい自然の中で、独自の文化や歴史を知り、現地の人々の暖かさに触れ、視野を広める。
- ② 集団で旅行する経験を通じ、規律と良識ある生活態度を身につけ、今後の学校生活に役立てる。
- ③ オリエンテーション合宿、校外学習で取り組んだ「仲間づくり」をさらに深め、互いに信頼し、高め合える集団を目指す。

これらの目標を掲げ、奄美大島での修学旅行が行われるのです。ぜひ、みなさんもただ単に楽しむだけではなく、これら3つの目標をもった教育活動であるとの認識を頭の片隅に置きながら11月10日(火)～13日(金)、3泊4日の修学旅行に臨んでください。

私は、今年度の始業式において君たちに「甲高を好きに、できれば大好きになってほしい」と話しましたが、「甲高サイコー」を実感できる「仕掛け(学校行事)」の最たるものが、これから始まる修学旅行です。

最後に、準備等に関わってくれたすべての方に感謝しつつ、さあ、思う存分、修学旅行を楽しみ、良い思い出をつくりましょう。